

日月 裕 タチモリ ユタカ

京都大学理学部卒業(1975), 大阪大学医学部卒業(1981), 京都大学大学院理学研究科中退(1977), 八尾徳洲会病院医師(1981~1982), 大阪大学医学部麻酔科医師(1982~1983), 府立母子保健総合医療センター麻酔科医師(1983), 大阪大学医学部麻酔科医師(1984~1985), 大阪大学医学部集中治療部助手(1985~1987), 市立豊中病院麻酔科医師(1987~1998), 市立豊中病院麻酔科, 医療情報部副部長(1998~1999), 市立豊中病院麻酔科部長(1999~2000), 阪和第二泉北病院麻酔科部長, 情報監理局局長, ホスピス長(2000~2004), 日本福祉大学赴任(2004).

【研究分野】

医療社会学.

【キーワード】

カオス・複雑系, 医療情報, ホスピス, ターミナルケア.

【担当授業科目】

学 部 : 公衆衛生, 専門演習, 福祉経営のための数学.

【主な研究テーマ】

1. 新しいターミナルケアの研究

ホスピスケアを中心としたターミナルケアのフィールドを通じて, ターミナルケアの質評価の方法, さらに広く老人ケアも含めたケア一般の質評価の方法を模索する. その理論的な基礎としてはカオス・複雑系の考え方をしたい.

2. 医療情報システムの実践的研究と開発

病院情報システムは医事会計システム, オーダリングシステム, 電子カルテへと発展してきた. しかし, いずれの場合も, 人間が行う医療業務をコンピュータにより模倣させ, 人間の業務を肩代わりすることにより発展してきた. そのため, 業務内容自体は人がやっていたものがコンピュータに変わるだけで変化は無かった. しかし, 今後の情報システムは業務内容そのものまでも変化させるようなシステムの開発が必要である. それは, コンピュータシステムのみを開発するのではなく, 最初からコンピュータを組み込んだ病院そのものを構築する作業になると考えている.

3. 医療とカオス・複雑系

複雑系の手法により患者・医療者からなる仮想的な医療モデルを構築し, その動きをコンピュータシミュレーションにより観察することにより, 従来の要素選元的な手法では理解できなかった医療上の問題の解明を試みる. 具体的には病名の頻度分布がなぜ「べき分布」をするのか, 「根拠に基づいた医療(EBM)」の手法の適用範囲はどの程度であるのか等の問題を調べたい.

【主な研究業績】

<論文>

- 「療養型病院における残薬管理の実態について」, 『第27回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 2007. 11, pp. 959-962.
- 「療養型病院の処方オーダーにおける特徴抽出の試み」, 『第26回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 2006. 11, pp. 1184-1187.
- 「急性期病院と療養・介護型病院における入院期間分布の違い」, 『第26回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 2005. 11, pp. 245-248.
- 「療養型病院における患者移動について」, 『第25回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 2005. 11, pp. 253-256.
- 「7病院における患者ID番号共通化の試み」, 『第23回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 2003. 11.
- 「情報共有化を考慮した7つの病院の医療情報システムの構築」, 『第24回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 2003. 11.

- 「Clinical Diagnoses Following ZipF7's Law」, Fractal Vol. 10 No. 3, 共著, 2002. 03, pp. 341-351.
- 「医師が知りたい看護情報」, 『月刊かんごきろく』11(9), 単著, 2001. 12, pp. 21-24.
- 「過去の受診経過の違いによる外来患者分類の試み」, 『第21回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 2001. 11, pp. 139-140.
- 「初診から受診終了までの経過の違いによる患者分類の試み」, 『第20回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 2000. 11, pp. 96-97.
- 「情報システムを利用した抗生剤使用状況と耐性菌の調査」, 『第20回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 2000. 11, pp. 118-119.
- 「診療科別術式手術患者における入院時状態と退院時状態の比較」, 『第20回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 2000. 11.
- 「豊中病院のオーダーリングシステム」, 『新医療』27(7), 単著, 2000. 07, pp. 96-98.
- 「実践から病院情報システムの功罪とそのあり方を考える(第1回-第8回)」, 『病院』vol. 59, 60, 単著, 医学書院, 2000. 01.
- 「オーダーリングシステムを用いた院内感染状況の分析の試み」, 『第19回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 1999. 11, pp. 172-173.
- 「オーダーリングシステム導入における表面に出ない費用の概算」, 『第19回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 1999. 11, pp. 142-143.
- 「医師入力による病名オーダーの利点と問題点-クランク入力によるデータとの比較」, 『第19回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 1999. 11, pp. 150-151.
- 「段階的注射オーダーリングシステム導入の経験と評価」, 『第19回医療情報学連合大会論文集』, 共著, 1999. 11, pp. 192-193.
- 「オーダーリングシステムの一括稼働1年半の現状」, 『新医療』26(8), 単著, 1999. 08, pp. 74-77.
- 「院内クライアントサーバ型オーダーリングシステムと連携した細菌システム」, 『第18回医療上方角連合大会論文集』, 共著, 1998. 11, pp. 650-651.
- 「予約システム利用による開院時の患者数のコントロールについて」, 『第18回医療情報学連合大会論文集』18, 共著, 1998. 11, pp. 262-263.
- 「システム化ゼロの状態から医事システム・オーダーリングシステム・部門システムの新規一括稼働を行った経験」, 『第18回医療情報学連合大会論文集』18, 共著, 1998. 11, pp. 144-145.
- 「クライアントサーバ型オーダーエントリーシステムと連携した臨床検査システムの構築」, 『第18回医療情報学連合大会論文集』18, 共著, 1998. 11, pp. 126-127.

【所属学会】

日本麻酔学会(1983~), 日本麻酔・集中治療テクノロジー学会(1990~), 日本死の臨床研究会(2003~).